群馬県繊維工業試験場の拡充並びに敷地内の整備について（改訂継続）

群馬県繊維工業試験場は、全国で唯一の公的施設として群馬県民の誇りであり、また、研究開発、技術支援、人材育成・情報提供、産地課題への対応など、群馬県の繊維業界を全面的にサポートする様々な施策を積極的に展開している機関であります。

繊維業界を取り巻く環境は、東南アジア市場を中心に繊維製品の低価格化で推移しております。繊維産業の縮小、技術者の高齢化、後継者不足など縮小傾向への連鎖が危ぶまれている中、「富岡製糸場と絹産業遺産群」が世界文化遺産に登録され、また、「かかあ天下〜ぐんまの絹物語〜」が日本遺産に認定されるなど、群馬の“繊維”が衆目を集めるところとなっております。

平成29年度にはクリーンルームやオープンインベションルームの設置、平成30年度には生地のパット・ドライ試験機の導入、そして本年度は人工気象室及び機器などの人間工学評価室の整備が予定され、その存在意義は年々高められておりますが、引き続いての最新機器導入による設備の整備、研究員等の人員配置拡充など、更なる機能充実を図るための積極的かつ充実した支援体制が取られるよう、群馬県に呼びかけていただくことを切望いたします。

また同時に、敷地内の未使用施設の再整備・有効活用についてもご検討いただきますよう、併せて要望いたします。

桐生市からの回答

群馬県繊維工業試験場は、全国で唯一の繊維に特化した公設試験場であり、繊維関連の中小企業が多い本市にとって、極めて重要な施設であると認識しております。本市では、これまでも同試験場と市内の繊維関連企業との連携促進を図りながら、同試験場が行う研究開発や技術支援、人材養成などの取組に対して必要な支援を行っておりますが、こうした取組が同試験場の存在意義を高める効果もあると考えております。

県におきましては、繊維関連企業の成長の原動力となる新製品や新技術の開発を促進するため、最新機器を導入し施設の充実を図っておりますので、本市といたしましては、今後も、同試験場と連携を密にしながら、繊維産業の振興を図るとともに、貴所の御要望をお聴きしながら、県に対し要望してまいりたいと考えております。

また、敷地内の未使用施設の再整備・有効活用については、「桐生市公共施設等総合管理計画」を踏まえ、関係機関などと調整を図りながら検討してまいりたいと考えております。

[回答担当] 産業経済部産業政策課工業労政係